

檜葉町駐在現地確認概要(平成30年1月15日～1月19日)

| 確認日   | 確認目的                       | 確認箇所                                       | 確認状況  | プラント関連パラメータ |
|-------|----------------------------|--|---|-------------|
| 1月15日 | 増設多核種除去設備循環ポンプからの漏えい現場の確認  | 増設多核種除去設備                                  | ○1月13日に増設多核種除去設備循環ポンプ(A)の軸封部から水の滴下が発生したことから、現場の状況を確認した。<br>漏えい箇所であるクロスフローフィルターAスキッドは、コンテナの中に入り、循環ポンプ(A)もその中にあると思われた。確認時、当該漏えい事象にかかる作業は行われていなかったが、目視した限りではコンテナ周囲に漏えいが拡大した痕跡は認められなかった。  | 11時49分現在    |
|       | 3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバーの設置状況の確認 | 3号機原子炉建屋西側                                 | ○3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバーの設置状況を確認した。<br>全8ユニットのうち2ユニットはまだ設置されておらず、前回確認時から大きな進捗はなかったが、西端に設置されているユニットの西側の面の開口部に、下から伸びてきている配管ダクトが新たに接続されていることを確認した。  |             |
| 1月16日 | サブドレン処理水排水状況の確認            | 免震重要棟集中監視室<br>サブドレン処理水一時貯水タンク、移送設備、バルブユニット | ○サブドレン一時貯水タンクからの排水操作に立ち会い、水質が確認されたタンクから定められた手順により排水が行われていることを確認した。  | 9時30分現在     |
|       | サブドレン海水サンプリング状況の確認         | 5、6号機放水口北側                                 | ○サブドレン排水に伴う海水サンプリングに立ち会った。福島県測定分も含めて5本採取した。   |             |
|       | 3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバーの設置状況の確認 | 3号機原子炉建屋西側                                 | ○1月15日、3号機原子炉建屋屋上につり上げていたスライド架台(燃料取り出し用カバーの部材を移動させるための架台)が、3号機原子炉建屋大物搬入口前につり下ろされたことから、その状況を確認した。<br>目視で確認した限りでは、特に問題は見当たらなかった。  |             |
| 1月17日 | H5・H6タンクエリアの状況確認           | H5タンクエリア<br>H6タンクエリア                       | ○フランジタンクを設置しているH5北及びH6北タンクエリアでは、溶接型タンクへのリプレースのため、支障となるRO濃縮水移送ポンプ及び受け払い配管の撤去工事が行われていることから、工事の進捗状況を確認した。また、H6タンクエリアでは、平成26年2月にC1タンクから漏えいした濃縮塩水によって汚染された土壌の撤去工事が今後開始されることから、現況を確認した。<br>H5タンクエリアは、配管等の撤去が完了していたが、H6タンクエリアは、撤去中であり、配管等はエリア内に仮置きされたままであった。<br>また、H6タンクエリアにおける土壌回収作業については、タンクや堰の基礎がまだ残っており、準備工も始まっていなかった。 | 10時13分現在    |
| 1月18日 | 1/2号機排気筒ドレンサンピットの溜まり水の状況確認 | -  | ○1/2号機排気筒ドレンサンピットの溜まり水の移送頻度や管理方法等について、東京電力担当者から説明を受けた。<br>新事務本館において、ピットに設置された水位計の値を監視していることを確認した。また、水位が一定の高さに到達すると、自動でポンプが起動し、一定の高さに下がるまで現場に設置されたプラスチック製タンクに移送されることであった。その後、プラスチック製タンクの水位が一定の高さに到達すると、手動でポンプを起動させ、トラックに積んだ別のタンクに移送し、2号機廃棄物処理建屋へ運搬させているとのことであった。   | 10時28分現在    |
|       | 使用済保護衣等保管エリアfの状況確認         | 使用済保護衣等保管エリアf                              | ○使用済保護衣等保管エリアfの現況について、現場確認した。<br>当該エリアは、固体廃棄物貯蔵庫第9棟から北側約300mに位置しており、2～3段積みの金属製コンテナが整然と保管されていた。エリアの占有率は、ほぼ100%を占めており、空きスペースはなかった。コンテナは、所々錆びていたが、コンテナから保護衣等の廃棄物が飛散・流出等している様子は確認されなかった。  |             |
| 1月19日 | 第三セシウム吸着装置の設置状況の確認         | サイトバンカ建屋                                   | ○サイトバンカ建屋2階において、第三セシウム吸着装置(SARRY II)の設置工事が行われていることから、工事の進捗状況を確認した。<br>確認時、作業は行われていなかったが、前回確認時にはなかった大型のラックが設置されており、バルブの付いた管が固定されていた。また、配管と思われる資材が搬入されていることを確認した。   | 11時36分現在    |
|       | 淡水化装置建屋内のタンクからの漏えい現場の確認    | 淡水化装置建屋(RO-3)                              | ○1月19日、淡水化装置建屋(RO-3)において、RO設備漏えい監視装置が発報したことから、現場確認をした。<br>確認時、現場では作業員が漏えいした水の回収作業を行っていた。東京電力によると、漏えいした水は、MMF(フィルター)の逆洗水であり、プラスチック製のタンクから溢水したとのことであった。   |             |

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。